

北上川下流流域下水道施設，迫川流域下水道施設及び北上川下流東部流域  
下水道施設に係る指定管理者の指定について

- 1 施設概要  
施設名 北上川下流流域下水道施設，迫川流域下水道施設及び北上川下流東部流域下水道施設  
所在地 石巻市蛇田字新メ切 5 - 2，登米市石越町東郷字六反新田 1 4 - 2 及び石巻市魚町一丁目 1 - 1
- 2 募集期間  
平成 2 5 年 8 月 1 日から平成 2 5 年 9 月 1 7 日まで
- 3 応募団体（1 団体）  
石巻環境サービス株式会社
- 4 審査日程  
第一次審査（書類審査） 平成 2 5 年 9 月 1 8 日から平成 2 5 年 1 0 月 2 5 日まで  
第二次審査（ヒアリング） 平成 2 5 年 1 0 月 3 日

- 5 審査方法  
平成 2 5 年 1 0 月 2 5 日に宮城県流域下水道指定管理者選定委員会を開催し，公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第 3 条に規定する選定基準により，下記の項目について審査を行い候補者を選定した。

| 審査項目       | 審査の視点  | 配点      |
|------------|--|---------|
| 申請者の経歴及び能力 | イ 申請者の経歴，業務実績，経営基盤の安定性<br>ロ 業務責任者及び業務主任者となる予定者の資格，経歴，業務実績<br>ハ 業務を行うに当たっての組織体制<br>ニ 業務を行うに当たって，独自の発想に基づく提案 | 8 0 点   |
| 計画内容の実現性   | イ 募集要項に示した業務の計画への反映<br>ロ 計画内容についての手法等の的確性<br>ハ 計画内容について具体性及びその実現性<br>ニ 計画内容についての独自性<br>ホ 経費の節減方法における工夫と実効性 | 8 0 点   |
| 支出計画       | イ 管理に要する経費<br>ロ 経費算出の合理性   | 4 0 点   |
| 合 計        |  | 2 0 0 点 |

- 6 選定委員の氏名等

|     | 氏 名     | 所属・職                  |
|-----|---------|-----------------------|
| 委員長 | 大 村 達 夫 | 東北大学未来科学技術共同研究センター・教授 |
| 委員  | 佐々木 郁 子 | 東北学院大学経営学部教授          |
| 委員  | 森 山 正 美 | 日本下水道事業団東北総合事務所長      |
| 委員  | 佐々木 隆 之 | 仙台市建設局下水道経営部長         |
| 委員  | 三 浦 幸 喜 | 石巻市建設部下水道管理課長         |
| 委員  | 高 橋 一 朗 | 宮城県土木部下水道課長           |

- 7 採点一覧表（高得点順に配列）

| 団体名          | 審査項目       | 委員 A | 委員 B | 委員 C | 委員 D | 委員 E | 委員 F | 摘 要      |
|--------------|------------|------|------|------|------|------|------|----------|
| 石巻環境サービス株式会社 | 申請者の経歴及び能力 | 73   | 73   | 70   | 73   | 69   | 69   | 指定管理者候補者 |
|              | 計画内容の実現性   | 73   | 71   | 69   | 62   | 64   | 63   |          |
|              | 支出計画       | 34   | 32   | 30   | 30   | 32   | 32   |          |
|              | 合 計        | 180  | 176  | 169  | 165  | 165  | 164  |          |

- 8 指定管理者候補者の提案価格（支出計画）  
支出総額 5, 9 7 0, 2 5 1, 3 8 2 円

9 指定管理者候補者  
団体名 石巻環境サービス株式会社  
代表者 代表取締役 森田 和  
所在地 石巻市鑄銭場5番21号

10 指定期間  
平成26年4月1日から平成31年3月31日

11 選定理由  
宮城県流域下水道指定管理者選定委員会において「北上川下流流域下水道施設」及び「迫川流域下水道施設」並びに「北上川下流東部流域下水道施設」の指定管理者募集要項に「選定基準等」を定めた上で、書類審査及びヒアリングを実施した。  
申請者の経歴については、下水道施設に関する「業務実績」が豊富であり、能力については「安定した経営基盤」がある。また、東日本大震災の際の対応も十分であると認められた。  
計画の内容及び実現性については、「安定した管理運営や管理水準向上」において独自の取り組みや創意工夫が優れており、また、異常時・緊急時の対応についても適切な計画であると認められた。  
支出計画については、経費節減の提案があり、施設の効率的な運営について妥当と認められた。  
以上のことから、指定管理者として施設の管理運営を適切に実施し得る団体として選定した。

12 指定管理者の指定  
宮城県流域下水道指定管理者選定委員会の審査結果を踏まえ、上記9の指定管理者候補者を、平成25年11月県議会の議決を経た上で、平成25年12月16日に指定管理者に指定した。